

第1回 市民ワークショップ 「芋井地区の将来、こんな地域をつくりたい」 をテーマにグループ討議を行いました

5月21日（土）芋井支所で「芋井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ」を開催しました。

ワークショップでは、はじめに市から、小学校を中心とした芋井地区の公共施設の現状や人口推計などについて説明し、そのあとに「地区の将来、こんな地域をつくりたい」をテーマにグループ討議と発表を行いました。

ご参加いただいた皆さまには、熱心にご討議いただき、ありがとうございました。

グループ討議の様子です



なごやかな雰囲気の中、色々な意見が出されました

	開催日	内容(予定)	会場
第2回	6月 4日(土)	グループ討議テーマ「 公共施設でしたいこと、施設の活用方法 」	小学校 第一分校
第3回	6月11日(土)	グループ討議テーマ「 運用面からみた、将来の公共施設再配置のかたち 」	芋井公民館
第4回	7月 2日(土)	意見発表、まとめ	芋井公民館

いずれも時間は午後2時から4時です。

ワークショップは公開です。興味をお持ちの方は、ぜひ会場にお越しください。グループ討議への飛び入り参加も大歓迎です。



【お問い合わせ先】
行政管理課 公共施設マネジメント推進室
電話:224-8402

各グループから発表された主な意見をご紹介します



【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆皆が集まれる場所や機会が減った。地域の人も外の人も関心を持ってくれるようなイベントを開催する。住民が誇れる地域の文化が必要
- ◆飯綱との協働で、観光のまちづくりなど活性化につなげる
- ◆芋井と飯綱を結ぶ県道の拡幅など、インフラ整備を進める
- ◆小学校第一分校はもったいない。活用方法を考える

【Bグループ】 地域のリーダー世代の皆さん

- ◆桜の里、りんごの里といったブランド化で地区のイメージアップを図る
- ◆移住したくなるまち、安心して子育てできる地区にして、田舎暮らしの好きな人を受け入れる
- ◆空き家、休耕地などの遊休資産を活用する。田舎料理の店をつくる
- ◆高齢者向けの憩いの場所や施設が欲しい。その施設は、小学生とふれあえる施設が良い

【Cグループ】 働き盛りのお父さんお母さん

- ◆支所周辺、影山周辺、飯綱周辺がもっと交流して協力し合える芋井地区にする
- ◆みんなが集まって交流できる施設があると良い。車が運転できないお年寄りも生活しやすいインフラ整備を図る
- ◆今住んでいる我々が楽しいと思える地域であれば、外の人も住みたいと思える
- ◆もっと便利にして欲しい人と、不便を承知でのんびりした生活を望んでいる人が、双方満足できる地区にしたい

【Dグループ】 子育て中の女性と地域おこし協力隊

- ◆芋井地区の自然は誇りであるが、自然すぎて大変（野生鳥獣、草刈・除雪）
- ◆空き家等住む場所があるので、若者を呼び込む。地区の役を若者に押し付けない配慮が必要
- ◆観光やりんごづくりなどの雇用はある。若者が挑戦できる職場をつくる
- ◆子どもの保育・教育施設は残して。小学校の中に児童センター・保育園を一体化する。通学路整備やスクールバス導入を図る

【Eグループ】 信州大学工学部の学生の皆さん

- ◆芋井の価値や魅力をつくり、高めていく。市街地へ近い立地を生かしたベッドタウンも可能
- ◆大学生など若い人が住んでいる、住んでいることが分かることで、同世代が住みやすくなる資金面の援助も有効では
- ◆住民が一同に会する施設や、長野一戸隠間に道の駅などのインフラと、自然を生かした若者が楽しめるアクティビティを作る
- ◆山村、農村、自然を生かして交流人口増を図る

終了後のアンケートで「年代別のグループ分けが良かった。色々な意見が聞けて参考になった。もっと時間が欲しかった。次回も楽しみ」といった声がありました。

次回のワークショップでは、「公共施設を使ってやりたいことや、施設を有効活用する方策」などについて、グループ討議を行い、結果を発表していただきます。

